

この学校にわたしたち

2023. 3. 21

N069

自分の人生の中では誰もがみな主人公～♪

これはさだまさしの「主人公」という歌の歌詞です。私は「自分らしく明るく朗らかにそして堂々と自分の人生を歩いていってください」という言葉を使います。6年生が「メッセージを書いてください」と校長室に卒業アルバムを持ってきた時や式辞の中で今年も使いました。かつてはプリクラが話題となりましたが、今、海外では“BeReal（ビーリアル）”という写真共有アプリが話題となっているようです。登録すると1日1回、予告なしの通知が届き、2分以内に加工しない写真をアップロードするというものです。

20年程前に教育相談に携わっていた先輩から「親も子も教師も評価を気にしなければならぬ時代だから苦しい。ますます、うつ病や不登校、自殺者が増える。」と聞きました。現在はまさにそのような状況となっています。プリクラやインスタグラムを否定する気持ちはありませんが、フォロワー数や“いいね”に気を取られてしまって本来の楽しみを忘れてしまった時、人は苦しくなったり、人を妬んだりする気持ちになるのではないのでしょうか？そういった意味で BeReal が話題となっていることは理解できる気がします。

学校現場では“自己肯定感を高める”という言葉をよく使います。大切なことなのですが、「自己肯定をしなければ…」となってしまうと逆に自己肯定できない自分に苦しくなってしまう。私は佐渡裕さんの話を以前に紹介しましたが、大人も子どもも完璧な人間はいませんし完璧を求めるべきではないと思います。大人である親や教師は、子どもにありのままの姿を見せ、子どもたちにも“ありのまま”の自分でいいのだと感じさせることがとても大切ではないでしょうか。“ありのまま”すなわち、かざらない素のままの自分を受け入れること（自己受容）が必要だと思います。違う次元の話ですが、俳優のオードリー。ヘアバーンは「一つ一つのシワも私」と写真を修整しなかったといわれています。SDGs（持続可能な社会）の時代、社会を構成する私たちも苦しくない心の持ち方を意識していきたいと思います。そういった意味をこめてアドラー心理学ではないですが、「人生の主人公は自分自身」というさだまさしの曲から、子どもたちにメッセージを送っています。

卒業式

3月17日（金）に卒業式が行われ、7名の6年生がハッ山小学校を巣立っていきました。私にとっては校長人生の第1期の卒業生ということもあり感慨深いものがあります。在校生もたった34名と思えないほどの元気な声で歌を歌い、よびかけを行い、素晴らしい卒業式となりました。卒業生7名全員が晴れやかな表情で元気に巣立っていくことができ、とても嬉しく思いました。





令和4年度 津市立八ツ山小学校卒業式

令和5年3月17日



祝 卒業

令和5年3月17日

